

別記様式

令和7年度第2回米原市自治基本条例推進委員会 会議録（要点筆記）

会 議 名	令和7年度第2回米原市自治基本条例推進委員会
開 催 日 時	令和7年7月3日（木）午後7時～午後9時
開 催 場 所	米原市役所本庁舎 会議室3-D E
出席者および欠席者	出席者（順不同・敬称略） 委 員：大橋松行会長、上田洋平副会長、植田淳平、岡田友美、草野丈太 清水元幾、高橋滝治郎、東野孝、福永ひろみ、松居悟 （欠席：北澤あさこ、山田輝子） 米原市：川瀬政策推進部長 政策推進部政策推進課：村口課長、田野主幹、鈴木主任 ㈱サンワコン：平山、長谷川、鹿内
議 題	（1）アンケート中間報告（18歳以上市民向け）【速報】 1）第3次米原市総合計画策定に向けたアンケート【集計結果】（18歳以上市民向け）（資料1） （2）米原市の現状と今後の見通しについて 1）米原市を考える統計データ集について（資料2） 2）米原市のこれからのまちづくりの課題について（資料3） 3）米原市の今後の人口の見通しについて（資料4）
結 論	（1）アンケート中間報告（18歳以上市民向け）【速報】 ・ 次回の会議に向けて、クロス集計と分析を進める。 （2）米原市の現状と今後の見通しについて ・ 引き続き、米原市のまちづくりの課題の整理および米原市の人口の見通しについて、作業を進める。
審 議 経 過	1 会長あいさつ 2 アンケート中間報告（18歳以上市民向け）【速報】 1）第3次米原市総合計画策定に向けたアンケート【集計結果】（18歳以上市民向け）（資料1）
会長	・ 報告を受けておおよその傾向は理解できた。 ・ ただ、“どちらかといえば”などの中間回答を無くすと、違う傾向がみえてくる気がしている。その方が良かった可能性もある。これは私の感想であるが、そうすれば、かなり明確な傾向が増えると思う。
事務局	・ アンケートについては、2年に1回実施している。これからも実施していくので、今のご意見は非常に大事だと思うので、その時にまた検討していきたい。 ・ 今回については、今までの経年的な調査で押さえている項目もあるため、やむを得ない部分のご容赦いただければと思う。

委員	・これは中間報告であるが、最終的な結果は、県内の他の市町と比較できるようなものを出していただけるのか。
事務局	・他の市町と単純な比較についてはなかなか難しいが、ウェルビーイングの設問は、全国的な調査と共通しているので、御確認いただきたく思う。 ・これは速報版の単純集計なので、クロス集計した結果は、次回の8月上旬に行われる会議でご報告できていると思っている。
委員	・問2（年齢）と問3（小学校区）について、米原市民全体の年齢層と回答者の年齢層は大体比率が一致しているのか、ある年齢や小学校区の人が多く回答しているのか、をお伺いしたい。
事務局	・問2（年齢）の方では、40歳代や50歳代は米原市の人口比率、全体のパーセントと同じぐらい。10歳代から30歳代までは回答率は低く、60・70歳代は少し高い状況である。 ・問3（小学校区）の方は、ある程度バランスよく出ていると認識している。
委員	・ウェルビーイングに関する設問は、国で検討した設問をそのまま米原市でも設定して行っているのか。
事務局	・その通りである。ウェルビーイングダッシュボードの項目をそのまま採用している。個人の幸せのあり方や価値観も多様化しているので、他市町との比較をすべきではない部分もあるが、それによって分かることもあると考えて、米原市版として行っている。 ・全国調査と変えた部分は、“あなたのまちには”を“米原市には”と置き換えて、回答者が米原市をイメージしやすいように工夫した点のみである。最終的に国のウェルビーイングダッシュボードにこのデータを登録することで、オープンデータとしていろんな分析に使ってもらえるようにと考えている。
委員	・「当てはまらない」が沢山回答されている項目があるが、報告を聞いていると、「当てはまらない」ことが良くないことのように扱われ、そこを改善した方が良いのではないか、という意図的なものを感じてしまう。それが米原市に必ずしも必要なことかどうか、良い・悪い、出来ている・出来ていない、というように、単純に集計した結果を色々な部分に使われるのであれば少し怖いと思う。
事務局	・ご指摘いただいた通り、何となく良い悪いという議論になりがちである。そうではなく、コインの裏と表のように、良い面には影の面もある。悪い面では静かに暮らせるとか、高齢化や人口減少は悪い側面でいろいろ挙げられているが、一方では自然環境への負荷が下がるなど、いろんなことには表面と裏面がある。強みが弱みにもなるし、弱みが強みにもなるので、その考え方を大事にしたいと思う。
委員	・一般アンケートの回答では、米原市の利便性が悪い点が色々目立っている。先ほどの話を踏まえても、全部を伸ばすことは出来ないもので、良い所を伸ばしていき、そうでないところは無理矢理伸ばす必要はない。 ・移住者に対しては、市外からの目線で聞いてもらおうと面白いデータがとれるのではないかと思います。

委員	・問32と問33について、問33の「市の情報発信について充実させて欲しいことは何ですか」とあるが、内容を聞くのが普通ではないかと思う。
事務局	・ご指摘の箇所は、従前から行っている項目で、変えてしまうと経年的な比較分析ができなくなることもあった。再検討も行ったが、最終的には変えない方向性で結論を出した。 ・いただいたご意見は大事にしたいと思っており、次の調査には反映させる方向性で検討をしたい。
委員	・結果を見ても、自分たちの世代から上の世代の方の回答率がかなり高い。 ・米原市が若い人材を大切にしていく上でも、もう少し若年者の回答を得られるような方法を考えて実施していただけると良い。
事務局	・常々その課題を抱えているため、今回の総合計画策定にあたって、小学生4年生以上から高校生世代まで、網羅的に意見を把握するため、全数対象のアンケートを実施している。 ・市民ワークショップも8月30日に実施する予定であり、個別にでも御意見を頂戴したいと考えている。
委員	・アンケートの取り方は、紙面で郵送による配布でよろしいか。もしくは、Web回答やQRコードの配布等で行っているのか。
事務局	・小・中学生は、児童・生徒全員にタブレット端末が配布されているため、各学校を介して、授業等でタブレット端末を用いて回答していただいている。 ・高校生については、相当する世代の方を住民基本台帳から全員抽出し、QRコードを読み取ってWeb上で回答する形式を採用している。 ・一般の方に対しては、どちらの方法でも選んでいただけるように実施している。 3 米原市の現状と今後の見通しについて 1) 米原市を考える統計データ集について（資料2） 2) 米原市のこれからのまちづくりの課題について（資料3） 3) 米原市の今後の人口の見通しについて（資料4） （※資料2、資料3、資料4に基づき事務局から説明。）
委員	・6ページの1人あたりのごみ排出量について、燃えるごみの排出量のことか。
事務局	・可燃ごみ・不燃ごみの区分はなく、直接収集されているごみの全量である。
委員	意見交換（2グループに分かれてワークショップ形式で意見交換） 1) 人口減少が地域社会に及ぼす影響について 2) 米原市の重要政策について（市民の重要度・満足度、まちづくりの課題から） 4 その他 キックオフ講演会・市民ワークショップについて ・チラシをお配りしているように、キックオフ講演会・市民ワークショップを8月

